

令和 8 年度「研修マネジメント力協働開発プログラム(東北版)」実施要項

1 目 的

独立行政法人教職員支援機構（NITS）では、教職員研修が充実し、それを通じて子どもたちの学びがよりよいものとなるよう、「研修観の転換」に向けた取組を推進しております。

その取組の一つとして、昨年度より、研修担当者等がこれまでの教師の学びの在り方を問い直し、新たな研修の在り方を模索していくための支援やコミュニティ形成を目的に、「研修観の転換」に向けた「学び合いのコミュニティ」形成支援事業を展開しています。

NITS においては、こうした「学び合いのコミュニティ」が教育委員会、大学、学校等の枠を超えてつながり、各地域における教職員研修が持続的に深まっていくことを目指しています。

「研修マネジメント力協働開発プログラム(東北版)（「マネプロ(東北版)」）」は、このような「学び合いのコミュニティ」の醸成や、それを通じた教職員研修の持続的な深まりに資するよう、東北地域の研修担当者が、「教職員の学び」の在り方を協働的に問い、考え合う機会を提供するものです。

2 主 催 独立行政法人教職員支援機構

3 協 力 弘前大学教職大学院 福島県教育委員会

4 開催方法・日時・会場

| 回・方法 | 日時 | 会場 |
|--------------|--------------------------------|---------------------------------------------|
| 第 1 回(オンライン) | 令和 8 年 10 月 1 日(木)13:00～15:30 | 職場・自宅等 |
| 第 2 回(対面) | 令和 8 年 11 月 19 日(木)13:00～16:00 | 弘前大学教職大学院 (〒036-8560 青森県弘前市文京町 1 番地) |
| | 令和 8 年 12 月 18 日(金)13:00～16:00 | 福島県教育センター (〒960-0101 福島県福島市瀬上町五月田 16 番地) |
| 第 3 回(オンライン) | 令和 9 年 1 月 15 日(金)13:00～15:30 | 職場・自宅等 |

※第 2 回の実施内容はどちらも同様。2 会場のうち、どちらかを選択すること。

※対面とオンラインによるインターバル研修(全 3 回で一連のプログラムとなる。)

5 参 加 者

(1) 参加者数

各会場 50 名程度（※応募状況により、調整の可能性あり）

(2) 参加資格

以下のいずれかに該当する者

ア 東北地域(青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県)における各教育委員会及び教育センターの指導主事等

イ 東北地域における幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校及び特別支援学校の研究主任等

ウ 教職大学院の教員研修の企画に携わっている教員及び現職院生

(3) 参加者の決定

標準定員を踏まえて参加者数を調整し、参加決定者に対して決定通知を送付する。

6 研修内容（予定）

| | | | | |
|-------|-------|---------------|------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 第 1 回 | 12:30 | 13:00 | 13:10 | 15:20 |
| | 受付 | イントロ ダクション | グループセッション（内省・対話） これまでの経験の振り返り、第 2 回に向けての対話 ※適宜休憩 | 諸連絡 |
| 第 2 回 | 12:30 | 13:00 | 13:10 | 15:50 |
| | 受付 | イントロ ダクション | グループセッション（内省・対話） これまでの経験の振り返りをもとに、新たな教職員の学び を探る これからの展開を探る ※適宜休憩 | 諸連絡 |
| 第 3 回 | 12:30 | 13:00 | 13:10 | 15:20 |
| | 受付 | イントロ ダクション | グループセッション（内省・対話） プログラム全体の振り返り ※適宜休憩 | 諸連絡 |

※グループセッションでは、小グループ（4 名程度）で対話を通じて考え合う活動を行う。

7 申込手続・申込期限

以下の Google Forms により申し込むこと。

Google Forms URL : <https://forms.gle/RdVL2EcGZgmMtYUX6>

申込期限は、令和 8 年 9 月 1 日(火)とする。

8 事前課題

参加者決定通知にて案内する。

9 その他

- (1) 本研修は、NITS が委嘱した NITS フェロー（東北地域：星野、和田）（別紙参照）とともに、開催する。
- (2) 本研修プログラムの参加に際し、特別な配慮(障害、持病等による)が必要な場合には、事前に教職員支援機構に相談すること。
- (3) 全 3 回を一連のプログラムとして実施するものとする。申込をする際は、第 2 回（対面）への参加を必須条件とする。第 1 回、第 3 回（オンライン）については、事情により参加が難しい場合は、参加できなくても差し支えないものとする。
(例)第 1 回（オンライン）と第 2 回（対面）の参加：可
第 1 回（オンライン）と第 3 回（オンライン）の参加：不可

NITS フェロー（「学び合いのコミュニティ」形成支援）について

NITS フェローは、各地で教職員研修のデザインについて継続的に学び合う場を設けることなどを通じて、「教職員の学び」に関する「学び合いのコミュニティ」の醸成を後押しすることを任務としています。

独立行政法人教職員支援機構 NITS フェロー（東北）紹介

| | |
|--|------------------------------------------------------------------------------|
| | NITSフェロー 星野 真理 氏 |
| | 認定特定非営利活動法人カタリバ |
| | 福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校 学校支援コーディネーター |
| | 茨城県内の公立中学校教諭を経て、現職。 |
| | NITSフェロー 和田 渉 氏 |
| | 秋田大学大学院教育学研究科 教授 聖霊女子短期大学 非常勤講師 |
| | 秋田県内公立中学校教諭、教頭、小中一貫教育校校長、秋田県教育庁北教育事務所 所長、秋田県教育庁義務教育課課長、秋田県教育庁教育次長等を経て、現職。 |

NITSフェローコーディネータ(4人)・ NITSフェロー(16人)（「学び合いのコミュニティ」形成支援）

